

76 幸

68名の6年生が巣立っていきました。先の見えないこの時代ではありますが、6年生の明日(みらい)が明るいことを願ってやみません。

6年生の皆さん、6年生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。またこれまで6年生を見守ってくださった地域の皆様、ありがとうございました。



僭越ではありますが、式辞の一部を載せさせていただきます。

皆さんの卒業に際して、私からどんな言葉を贈ろうか、いろいろと考えていましたが、先日、動画撮影された「感謝の会」の一人一文字を直接見ながら思いついた言葉があります。それは「幸」という一文字です。この「幸」、もちろん意味は「幸(さいわい)」や「幸(しあわせ)」です。人によって幸せの感じ方は違います。例えばおいしいものを食べている時に幸せを感じる人、きれいな景色を見たときに感じる人、仲のよい友達や家族と過ごす時間を感じる人、スポーツやゲームなどで勝利したときに感じる人、自分の目標が達成されたときに感じる人。どれもがその人にとっての幸せなのだと思います。

この幸せ、実はなかなか一人で味わうことは少ないようです。例えば先ほどの幸せと感じるときを思い出すと、チームスポーツでも一人で行うスポーツでも、周りの応援や支えを感じることで、より強い幸せを感じるということです。きれいな景色もおいしい食事も一人で見たり食べたりするよりも誰かと、あるいは大勢とともにその時間を共有した方が、より強く幸せとを感じるのだそうです。

またこの幸せは、あなた一人だけが感じるのではなく、あなたが幸せと感じたときに、その気持ちが周りの人たちに発信されていきます。いいことがあった時には思わず笑顔になったり、人にやさしくできたりすることがあるのではないのでしょうか。つまりそれが幸せを感じたときに自然と態度に出てくるのです。つまり、幸せは人に広がるものと私は思っています。さらに誰かを幸せにできたのなら、その幸せは、今度は、自分に戻ってくるということも、私は経験から感じています。

4月から皆さんは中学生となります。大人への階段をまた一步、進んでいくこととなります。思春期といわれる中学生時代、これまで以上に大きな経験・体験が皆さんを待っていることでしょう。時にはつらく投げ出したくなる時があるかもしれません。そんな時はどうか、周りにいる人から少しだけ幸せをもらってみてください。また、辛そうな人が周りにいたら、どうかあなたの幸せをほんの少し分けてあげてください。そうすることによってきっとたくさんの人が幸せを感じるができると思っています。

6年間で培った、多くの力を信じ、さらに伸ばして、幸せな「中学校生活」という時間を過ごしてほしいと心から願っています。

本日は誠におめでとうございます。

